

一 千葉大学法学会主催・共催の講演会

(敬称略)

二〇一六年度に次の講演会が催されました。

二〇一六年六月二四日 一四時三〇分

題目 英米法特別講義「国際的法律業務の最前線——

日米両国における法科大学院と法律実務の経験  
をふまえて——」

講師 堀 史彦(弁護士・モリソン・フォスター/伊

藤見富法律事務所アソシエイト)

二〇一六年七月一二日 一四時三〇分

題目 英米法特別講義「グローバルな企業活動と大学

における法学教育」

講師 三谷 厚(株日立ハイテクワイールディング取

締役人事総務本部長)

二〇一六年一〇月二〇日 一六時一〇分

題目 日本弁護士連合会 日本司法支援センター・ひ

まわり基金法律事務所ガイダンス

講師 土佐一仁(弁護士・元角田ひまわり基金法律事

務所所長、千葉大学大学院専門法務

研究科修了)

植田高史(弁護士・日本司法支援センター本部

所属)

井野明梨(弁護士・法テラス千葉法律事務所)

鶴森雄二(弁護士・元法テラス宮崎法律事務所)

中澤康介(弁護士・元法テラス岐阜法律事務所)

二〇一六年一〇月二七日 一六時一〇分

題目 ロースクール進学者によるガイダンス

講師 中原慎也(首都大学東京大学院社会科学研究科

法曹養成専攻修了、新第70期司法修

習生・卒業生)

山下華穂(早稲田大学大学院法務研究科修了、

新第70期司法修習生・卒業生)

森田 優(東京大学大学院法学政治学研究科法

曹養成専攻2年(既修コース)・卒

業生)

二〇一六年一二月九日 一六時一〇分

題目 裁判所職員ガイダンス

講師 前川典之(千葉地裁・事務局人事課課長補佐)

越川知恵子(千葉地裁・民事部書記官)

大島弘樹(千葉家裁少年部主任家裁調査官)

二〇一七年一月一〇日 一四時三〇分

題目 環境法特別講義「国際環境法を学ぼう」気候変動交渉の現場から」

講師 久保田泉(国立環境研究所・主任研究員)

二〇一七年一月一七日 一〇時三〇分

題目 アジア政治Ⅱ特別講義「メコン開発の現状とNGO—環境、農業、貧困から考える—」

講師 木村 茂(NPO法人日本国際ボランティアセンター)

二〇一七年一月二〇日 一六時一〇分

題目 公務員ガイダンス

講師 村井咲音(内閣府総合職内定・人文社会科学学研究所博士前期課程在学学生・法学科卒)

小室芳樹(衆議院事務局内定・総合政策学科学生)

坂田莉緒(裁判所事務官内定・法学科学生)

福田奨悟(茨城県庁内定・総合政策学科学学生)

二〇一七年一月二四日 一〇時三〇分

題目 アジア政治Ⅱ特別講義「メコン地域における人身売買・人身取引とNGO」

講師 松本謡子(NPO法人ワールドビジョンジャパン) 志澤道子(NPO法人ワールドビジョンジャパン)

## 二 研究会活動

千葉大学法政経学部内で、二〇一六年度に次の研究会が催されました。

1 千葉大学リーディング研究育成プログラム(未来型公正社会研究)

二〇一六年四月二七日 第三回研究会

テーマ 「合理と不合理の間—日本の非正規雇用法制を考える—」

報告者 皆川宏之

二〇一六年六月八日 第四回研究会

テーマ 「ヨーロッパの『移民』問題から学ぶ…森千香子著『排除と抵抗の郊外』を題材に」

報告者 酒井啓子 三宅芳夫 中村千尋 水島治郎 (共催：科研(基盤A)「宗教の政治化と政治の宗教化」)

二〇一六年七月二七日 第五回研究会

テーマ 「ASEANの統合はふいへ…インクルーシブネスにどう考える」(Whither the ASEAN Integration: A Focus on its Inclusiveness)

報告者 石戸 光

二〇一六年九月一四日 第六回研究会

テーマ 「自由と権利から公正を考える—左翼リバタリアニズムを手掛かりに」

報告者 中井良太

二〇一七年二月一〇日 第七回研究会

テーマ 「首都圏にくらす未婚女性にとって恋愛結婚の条件とは何か―インタビュー分析から―」

報告者 府中明子

二〇一七年三月一五日 第八回研究会

テーマ 「人と人をつなぐ―中間支援の事例を通しつ―」

報告者 七星純子

二〇一六年一月一〇日 第二回国際シンポジウム「ASEANの統合と開発―メコン川とミャンマーから考える―」

―Whither the ASEAN Integration: the Case for Inclusiveness―

Eriko Hamada (濱田江里子) “What can Japan do for Myanmar?”

Seitichi Igarashi (五十嵐誠一) “Multi-stakeholder Approach to the ASEAN Integration”

Iwao Fujisawa (藤澤巖) “Regional Collaboration Framework: Legal Perspectives”

## 2 千葉少年問題研究会

二〇一六年五月一〇日 第五四回

テーマ 「司法領域にも役に立つスキーマ療法入門」  
報告者 伊藤絵美 (洗足ストレスコーピング・サポー

トオフィス 千葉大学子どものこ

ころの発達教育研究センター)

二〇一六年七月二二日 第五五回

テーマ 「長期受刑者収容施設における臨床の実際」  
報告者 東本愛香 (千葉大学社会精神保健研究教育セ

ンター)

帯施龍一 (千葉刑務所)

二〇一六年九月八日 第五六回

テーマ 「少年事件とメディア」  
報告者 川名壮志 (毎日新聞千葉支局)

二〇一六年一月二四日 第五七回

テーマ 「裁判所と協働する付添人活動―裁判官が付添人を経験して―」

報告者 藤永祐介 (大阪弁護士会子どもの権利委員会  
委員)

二〇一七年一月二六日 第五八回

テーマ 「LGBTと子どもたち」  
報告者 村田 悠 (レインボー千葉の会)

上井ハルカ (レインボー千葉の会)

二〇一七年三月二日 第五九回

テーマ 「生活貧困支援を通して感じる子どもの貧困」  
報告者 金田由希 (千葉市生活自立・仕事相談セン

ター稲毛相談員)

### 三 修士論文題目

二〇一六年度の千葉大学大学院 人文社会科学科学研究科博士前期課程修了者（法学・政治学系）修士論文の題目は、次の通りです。

妻鹿ふみ子

「ボランテイア終焉論」後における支え合いの思想と実践―コミュニケーションリズムとケア・居場所―

石田 沙希 エスニック・ネットワークを活用した在日外国人の自立

高野 竜太 ヒュームの政治学―政治的秩序維持と共感の関連

田中 岳 ヌスバウムのケイバビリティ・アプローチ―「アリストテレス的カリベラルのか」という問い

島山 美香 日本における母子家庭政策の現状と課題―就労支援政策と社会的排除／包摂

星川竜之介 スピノザの政治思想における社会契約論とその諸問題

清水 幹倫 現代法実証主義を用いた日本国憲法の妥当性の検討

### 四 博士論文題目

二〇一六年度の千葉大学大学院 人文社会科学科学研究科博士後期課程修了者（法学・政治学系）博士論文の題目は、次の通りです。